

2012年2月18日

「社会的居場所づくり」について

目標

社会的問題に微力ながらも貢献する企業になろう！

あるべき姿

グループ会社全体で生活保護受給者を3名採用



このギャップを埋めるために



一企業としての課題解決

NPO、社会福祉法人、行政と協働
清掃、誘導など簡易な仕事の提供
そのような仕事であっても社内外にとっても意義がある
ことであると意識の共有。
その後 本人の希望も配慮してスキルUPできる制度
の構築

現状

生活保護受給者の多くが家族・知人・友人誰も頼
る人もいなくて地域社会と孤立している。
その方々のなかには、就業することに対して身体
的に支障がないが精神的に大人のひきこもり状態
となっている。
一企業として特段 この問題について検討してこな
かった。

協働者の方より 次のような
言葉を頂戴しました。
「毎日、散歩したり たまに近
所の人と話すことはあったけ
ど 何か 孤独だったんです。
今は何か 毎日が楽しいで
す。」

